

受験番号

◎ 指示があるまで開かないこと。

令和8年2月18日 午後用

第77回獣医師国家試験 実地試験問題 (D)

注意事項

1. 問題数は60問であり、解答時間は2時間である。
2. 解答方法は次のとおりである。

〔1〕 各問題には5つの選択肢があるので、そのうち質問に適した答えを1つだけ選び、次の例にならって答案用紙にマークすること。なお、1問につき2つ以上マークした場合には、そのうちの1つが正答であっても誤りとして取り扱われる。

(例) 問61 我が国で獣医師国家試験事務を受けもっている省はどれか。

1. 厚生労働省
2. 文部科学省
3. 農林水産省
4. 外務省
5. 国土交通省

正答は「3」であるから、答案用紙の

61 E 1 ☐ E 2 ☐ E 3 ☑ E 4 ☐ E 5 ☐のうちE 3 ☑を横線で、
61 E 1 ☐ E 2 ☐ ~~E 3 ☑~~ E 4 ☐ E 5 ☐とマークすれば良い。

〔2〕 答案用紙のマークには、必ずHBの鉛筆を使用し、次の良い例のとおり、塗りつぶさずに線を引くこと。

良い例…… 悪い例……   

〔3〕 答えを修正する場合は、必ずプラスチック製の消しゴムで完全に消し、消し跡や消しクズが残らないようにすること。消し方が悪いと採点されないの
で注意すること。

〔4〕 答案用紙は、折り曲げたり、メモやチェックなどで汚したりしないよう特
に注意すること。

課題1 次の文を読み、問1、問2に答えよ。

猫、雑種、避妊雌、6歳齢。生後9か月齢頃からみられた貧血、高窒素血症、高リン血症が徐々に悪化し、持続性血尿がみられ、死亡した。〔図1-A〕は剖検時の腎臓、〔図1-B〕はホルマリン固定後の腎臓の剖面、〔図1-C〕は腎臓の病理組織像(HE染色)である。

別冊D
図1-A, B, C

問1 最も疑われる疾患はどれか。

1. 腎乳頭壊死
2. 腎臓の貧血性梗塞
3. 腎芽腫
4. 水腎症
5. 多発性嚢胞腎

問2 本疾患に関する記述として正しいのはどれか。

- a 肝嚢胞を伴うことがある。
- b 尿管の閉塞により生じる。
- c 肥大型心筋症に続発することがある。
- d 未熟な尿細管を認める。
- e *PKD1* 遺伝子の変異が認められる。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

課題 2 次の文を読み、問 3、問 4 に答えよ。

犬、ゴールデン・レトリバー、去勢雄、11 歳齢。数か月前から咳をし、最近前肢が太くなってきたとの主訴で来院。〔図 2 - A,B〕は前肢の X 線内外側像（A：右、B：左）、〔図 2 - C,D〕は胸部 X 線像（C：側方像、D：腹背像）である。

別冊 D

図 2 - A, B, C, D

問 3 本症例の病態として最も適当なのはどれか。

1. 前肢の骨腫瘍が肺転移している。
2. 肺の悪性腫瘍が前肢へ骨転移している。
3. 肺と前肢の病変に関連はない。
4. 肺の病変が原因で前肢の骨増生が生じている。
5. 前肢の骨の感染が肺に波及している。

問 4 本症例の治療として最も適当なのはどれか。

1. 両前肢の断脚
2. 抗菌薬の投与
3. 肺葉切除
4. 両前肢の放射線治療と肺葉切除
5. L-アスパラギナーゼの投与

課題3 次の文を読み、問5、問6に答えよ。

犬、フレンチ・ブルドッグ、避妊雌、6歳齢。いびきと興奮時のチアノーゼを主訴に来院。〔図3-A〕は症例の外貌、〔図3-B〕は呼気時の頭頸部X線側方像である。

別冊D
図3-A, B

問5 図から確認できる所見として適当なのはどれか。

- a 喉頭虚脱
- b 鼻咽頭狭窄
- c 喉頭室（喉頭小嚢）外反
- d 軟口蓋過長
- e 外鼻孔狭窄

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問6 まず実施すべき外科治療として適当なのはどれか。

- a バルーン拡張術
- b 披裂軟骨側方化術
- c 永久気管造瘻術
- d 狭窄性鼻孔切除術
- e 軟口蓋過長切除術

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

課題4 次の文を読み、問7、問8に答えよ。

犬、トイ・プードル、去勢雄、13歳齢。昨日から吐いているとの主訴で来院。
〔図4〕は肝臓および胆嚢の超音波検査像である。

別冊D

図4

問7 本疾患に関する記述として適当なのはどれか。

- a ムチンに富んだ粘液の過剰蓄積である。
- b 高脂血症はリスク因子である。
- c 膵外分泌不全を併発する。
- d 肝外胆管閉塞が原因となる。
- e 診断には胆嚢穿刺が必要である。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問8 本症例に対する治療として最も適切なのはどれか。

- 1. 消化管運動改善薬の投与
- 2. コルチコステロイドの投与
- 3. 胆嚢切除術
- 4. 抗がん剤の投与
- 5. 胆嚢ドレナージ

課題 5 次の文を読み、問 9、問 10 に答えよ。

神経症状を伴う食中毒を疑う患者が認められた。患者から採取した検査検体および患者が食べた食品を対象として、〔図 5〕に示すマウスへの接種試験を行い、一部の群で神経症状が認められた。

別冊 D

図 5

問 9 最も疑われる食中毒の原因菌または有毒物質はどれか。

1. ボツリヌス菌
2. テトロドトキシン
3. セレウス菌
4. サキシトキシン
5. 黄色ブドウ球菌

問 10 この食中毒の予防または行政機関による措置に関する記述として最も適切なものはどれか。

1. 食品を乳酸発酵させる。
2. 手指に化膿巣のあるヒトが食品に直接接触れない。
3. 喫食直前に食品を 80℃ 以上で 30 分間加熱する。
4. 一定以上の毒力が検出された二枚貝の流通を規制する。
5. 国が定めたフグの種類、部位以外の販売を禁止する。

課題 6 次の文を読み、問 11、問 12 に答えよ。

牛、ホルスタイン種、雌、4 歳齢。食欲不振、血便および血尿との主訴で診察した。身体検査では発熱と腔粘膜の充血がみられた。〔図 6〕は症例の外貌（A：鼻鏡周囲、B：右眼）である。

別冊 D
図 6 - A, B

問11 最も疑われる疾患はどれか。

1. 伝染性膿疱性皮膚炎
2. 悪性カタル熱
3. 牛ウイルス性下痢
4. 水疱性口内炎
5. 牛 RS ウイルス感染症

問12 本疾患に関する記述として正しいのはどれか。

- a 「家畜伝染病予防法」で家畜伝染病に指定されている。
- b 牛群内で感染が蔓延するため経済的損失が甚大である。
- c 自然宿主では不顕性感染である。
- d 発症牛は致死的経過をとる。
- e 我が国では予防のためのワクチン接種が行われている。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

課題7 次の文を読み、問13、問14に答えよ。

〔図7-A〕はある感染症に罹患した牛の外貌、〔図7-B〕は本疾患の発生国・地域である。

別冊 D 図7-A, B

問13 最も疑われる疾患はどれか。

1. 牛乳頭腫
2. 牛痘
3. ランピースキン病
4. 牛伝染性リンパ腫
5. 口蹄疫

問14 本疾患に関する記述として適切なのはどれか。

1. 牛の死亡率は30%を超える。
2. 原因ウイルスはパピローマウイルス科に属する。
3. ヒトへの感染も報告されている。
4. 昨年度、国内初の発生が四国地方でみられた。
5. 昆虫ベクターの機械的伝播により感染する。

課題 8 次の文を読み、問 15、問 16 に答えよ。

牛、黒毛和種、雌、4 か月齢。頭頸部の脱毛を主訴に診察した。〔図 8 - A〕は症例の外貌、〔図 8 - B〕は培養した病原体の鏡検像である。

別冊 D
図 8 - A, B

問15 病原体として最も疑われるのはどれか。

1. *Candida albicans*
2. *Aspergillus nidulans*
3. *Trichophyton verrucosum*
4. *Aspergillus fumigatus*
5. *Staphylococcus hyicus*

問16 本疾患の治療薬はどれか。

- a イベルメクチン
- b 塩化ジデシルジメチルアンモニウム
- c ナナフロシン
- d ジミナゼン
- e フルメトリン

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

課題 9 次の文を読み、問 17、問 18 に答えよ。

〔図 9〕は「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）」に基づき報告された、ある節足動物媒介性の感染症の 2024 年度における国内患者の都道府県別発生状況である。

別冊 D

図 9

問17 この感染症はどれか。

1. 日本脳炎
2. 日本紅斑熱
3. アナプラズマ症
4. ダニ媒介脳炎
5. 野兔病

問18 この感染症に関する記述として適切なのはどれか。

1. 我が国ではヒトのワクチンが実用化している。
2. 抗菌薬による治療は無効である。
3. 診断は血液塗抹により特徴的な感染細胞像（顆粒球）を確認する。
4. ウサギの致死感染が確認されている。
5. 我が国ではヒトで重症化して死亡した事例の報告もある。

課題10 次の文を読み、問 19、問 20 に答えよ。

馬、サラブレッド種、雌、2歳齢。レース後に右前肢跛行を呈した。〔図 10〕は患肢の単純 X 線像（A：背内側－掌外側斜位像、B：屈曲背側近位－背側遠位斜位像）である。

別冊 D
図 10 - A, B

問19 疑われる疾患はどれか。

1. 橈側手根骨感染性関節炎
2. 膝蓋骨上方固定
3. 第三手根骨骨折
4. 橈骨骨折
5. 副手根骨骨折

問20 本疾患の治療法として最も適切なのはどれか。

1. コルチコステロイドを投与する。
2. 骨片を外科ワイヤーで固定する。
3. 関節内に局所麻酔薬を投与する。
4. 関節をギプスで外固定する。
5. 関節鏡視下で骨片を摘出する。

課題11 次の文を読み、問 21、問 22 に答えよ。

〔図 11〕は「家畜伝染病予防法」のある家畜伝染病の患畜または疑似患畜が発見された場合に、発生農場を中心として設定される移動制限区域と搬出制限区域を表している。

別冊 D

図 11

問21 この家畜伝染病はどれか。

1. 口蹄疫
2. 豚熱
3. 牛肺疫
4. アフリカ豚熱
5. 高病原性鳥インフルエンザ

問22 問 21 の家畜伝染病と同一の移動制限区域、搬出制限区域が設定されるのはどれか。

1. ヨーネ病
2. 結核
3. 牛疫
4. 出血性敗血症
5. 流行性脳炎

課題12 次の文を読み、問 23、問 24 に答えよ。

犬、マルチーズ、避妊雌、5歳齢。2日前から元気がなく食べなくなり、今朝からぐったりしているとの主訴で来院。〔表 12〕は本症例の血液検査結果である。

別冊 D 表 12

問23 最も疑われる疾患はどれか。

1. 原発性上皮小体機能亢進症
2. インスリノーマ
3. 原発性アルドステロン症
4. 副腎皮質機能低下症
5. 中枢性尿崩症

問24 追加検査として最も適当なのはどれか。

1. 尿中コルチゾール / クレアチニン比
2. ACTH 刺激試験
3. 水制限試験
4. 腹部造影 CT 検査
5. 血中フルクトサミン

課題13 次の文を読み、問 25、問 26 に答えよ。

犬、ラブラドル・レトリバー、避妊雌、5歳齢。献血を目的に来院。身体検査および全身的な画像検査では異常はなかった。〔表 13 - A〕は血液検査結果、〔表 13 - B〕は A の結果を受けて実施した骨髄検査によって得られたミエログラムである。

<p>別冊 D 表 13 - A, B</p>

問25 最も疑われる疾患はどれか。

1. 慢性リンパ性白血病
2. 免疫介在性好中球減少症
3. 再生不良性貧血
4. 急性骨髄性白血病
5. 非再生性免疫介在性貧血

問26 本症例に対する治療薬として最も適当なのはどれか。

1. ヒドロキシカルバミド
2. ドキソルビシン
3. プレドニゾロン
4. エリスロポエチン
5. クロラムブシル

課題14 次の文を読み、問 27、問 28 に答えよ。

牛、ホルスタイン種、雌、1歳齢。貧血、黄疸、血色素尿、興奮および麻痺を呈し、死亡した。〔図 14 - A〕は脳の肉眼像、〔図 14 - B〕は脳の押捺標本（毛細血管、ギムザ染色、×400）である。

別冊 D
図 14 - A, B

問27 最も疑われる疾患はどれか。

1. ネオスポラ症
2. ピロプラズマ症
3. トキソプラズマ症
4. リーシュマニア症
5. トリパノソーマ症

問28 本疾患またはその病原体に関する記述として最も適当なのはどれか。

1. 我が国に常在する。
2. 「家畜伝染病予防法」の家畜伝染病に指定されている。
3. 吸血性の昆虫類が媒介する。
4. 牛の糞便内にシストを排出する。
5. 治療にメトロニダゾールが用いられる。

課題15 次の文を読み、問 29、問 30 に答えよ。

犬、グレート・デーン、避妊雌、4歳齢。明け方からぐったりして、気持ち悪そうにしており、よだれが多いとの主訴で来院。触診にて腹部に緊張を認めた。〔図 15〕は腹部単純 X 線像（A：側方像、B：背腹像）である。

別冊 D
図 15 - A, B

問29 最も疑われる疾患はどれか。

1. 脾臓腫瘍
2. 肝臓腫瘍
3. 胃穿孔
4. 食道裂孔ヘルニア
5. 胃拡張・捻転症候群

問30 本疾患に対する治療法として適切でないのはどれか。

1. 輸液療法
2. 胃カテーテルの挿入
3. 胃固定術
4. ビルロート I 法
5. 経皮的胃穿刺

課題16 次の文を読み、問 31、問 32 に答えよ。

牛、ホルスタイン種、雌、3歳齢。分娩後60日経過しても発情徴候がないとの主訴で診察した。直腸検査では卵巢の大きさは正常であった。〔図16〕はその時の卵巢の超音波検査像である。2週間後に再度検査を行ったが、卵巢の大きさならびに卵巢内の構造物に変化を認めなかった。

別冊 D

図 16

問31 最も疑われる疾患はどれか。

1. 卵巢發育不全
2. 卵巢静止
3. 卵巢萎縮
4. 卵胞嚢腫
5. 黄体遺残

問32 本疾患の治療に用いる薬剤として適切なものはどれか。

- a PGF_{2a}
- b オキシトシン
- c GnRH
- d hCG
- e FSH

1. a, b
2. a, e
3. b, c
4. c, d
5. d, e

課題17 次の文を読み、問 33、問 34 に答えよ。

〔図 17〕は pH の変化に伴う水中の遊離残留塩素の存在割合を示したものである。

別冊 D 図 17

問33 図中の (ア) および (イ) に該当する化学物質の組合せはどれか。

- | (ア) | (イ) |
|---------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 次亜塩素酸 (HClO) | 次亜塩素酸イオン (ClO^-) |
| 2. 次亜塩素酸イオン (ClO^-) | 次亜塩素酸 (HClO) |
| 3. 次亜塩素酸イオン (ClO^-) | モノクロラミン (NH_2Cl) |
| 4. モノクロラミン (NH_2Cl) | ジクロラミン (NHCl_2) |
| 5. ジクロラミン (NHCl_2) | モノクロラミン (NH_2Cl) |

問34 「水道法」に基づき定められている、給水栓における遊離残留塩素の基準値（供給する水が病原生物に著しく汚染されるおそれがある場合又は病原生物に汚染されたことを疑わせるような生物若しくは物質を多量に含むおそれがある場合を除く）はどれか。

1. 0.01 mg/L 以上
2. 0.05 mg/L 以上
3. 0.1 mg/L 以上
4. 0.5 mg/L 以上
5. 1.0 mg/L 以上

課題18 次の文を読み、問 35、問 36 に答えよ。

犬、ゴールデン・レトリバー、去勢雄、10 歳齢。1 週間前から左後肢をかばって歩くとの主訴で来院。触診を行ったところ、膝関節に疼痛が認められた。〔図 18〕は後肢の単純 X 線像（A：右後肢内外側像、B：左後肢内外側像、C：右後肢頭尾像、D：左後肢頭尾像）である。

別冊 D 図 18 - A, B, C, D

問35 患肢の X 線所見として適切なものはどれか。

- a 関節液貯留
- b 脛骨前方変位
- c 膝蓋骨内方脱臼
- d 脛骨近位部の骨吸収
- e 軟骨片の遊離

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

問36 本疾患に併発しやすい病態として最も適当なのはどれか。

- 1. 総指伸筋腱断裂
- 2. 内側半月板損傷
- 3. 外側半月板損傷
- 4. 内側側副靭帯断裂
- 5. 外側側副靭帯断裂

課題19 次の文を読み、問 37、問 38 に答えよ。

犬、シー・ズー、去勢雄、14 歳齢。3 か月前から手足の毛が抜け、最近では全身の皮膚が赤く腫れあがり痒みも伴うようになったとの主訴で来院。〔図 19〕は、皮膚搔爬物の直接鏡検像である。

別冊 D

図 19

問37 最も疑われる疾患はどれか。

1. 犬疥癬
2. マラセチア性皮膚炎
3. 皮膚糸状菌症
4. アトピー性皮膚炎
5. 毛包虫症

問38 本症例の治療として適切なのはどれか。

- a アミトラズによる薬浴
- b イベルメクチンの投与
- c コルチコステロイドの投与
- d ミコナゾール含有シャンプーによる薬浴
- e イトラコナゾールの投与

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

課題20 次の文を読み、問 39、問 40 に答えよ。

〔図 20〕は検査法 A と検査法 B の精度を示したものである。

別冊 D 図 20

問39 この図はどれか。

1. 生存曲線
2. ROC 曲線
3. 正規分布曲線
4. ヒストグラム
5. 流行曲線

問40 〔図 20〕の解釈および説明として適当なのはどれか。

- a 検査法 A は敏感度、特異度ともに検査法 B より優れている。
- b 検査法 A と検査法 B の一致度は高い。
- c 検査法 A は偽陽性率が検査法 B より高い。
- d X 軸の「1-特異度」は偽陰性率と同じである。
- e 検査の妥当性評価の指標として AUC が用いられる。

1. a, b
2. a, e
3. b, c
4. c, d
5. d, e

課題21 次の文を読み、問 41、問 42 に答えよ。

犬、アメリカン・コッカー・スパニエル、去勢雄、7歳齢。3日前から食欲がなく昨日からぐったりしているとの主訴で来院。身体検査では可視粘膜の蒼白化がみられた。〔図 21〕は採血後に EDTA 加血液をスライドガラス上に滴下した際の肉眼所見である。

別冊 D

図 21

問41 最も疑われる疾患・病態はどれか。

1. アセトアミノフェン中毒
2. 免疫介在性溶血性貧血
3. 犬糸状虫症
4. 免疫介在性血小板減少症
5. 赤芽球癆

問42 本疾患に対する治療薬として適当なのはどれか。

- a シクロfosファミド
- b N-アセチルシステイン
- c アザチオプリン
- d ヘパリン製剤
- e イベルメクチン

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

課題22 次の文を読み、問 43、問 44 に答えよ。

〔図 22〕 は研究データの解析についての会話である。

別冊 D

図 22

問43 (ア)、(イ) および (ウ) に当てはまる言葉の組合せはどれか。

- | (ア) | (イ) | (ウ) |
|---------|------|-----|
| 1. 差がある | 帰無仮説 | 採択 |
| 2. 差がある | 帰無仮説 | 棄却 |
| 3. 差がある | 対立仮説 | 検出 |
| 4. 差が無い | 帰無仮説 | 棄却 |
| 5. 差が無い | 対立仮説 | 検出 |

問44 有意水準が 5% のとき、この研究結果に関する記述として正しいのはどれか。

1. 帰無仮説は正しいと判断される。
2. 対立仮説は誤りと判断される。
3. 有意水準より小さい P 値は誤差によるものである。
4. 統計的に有意である。
5. 有意水準 5% では検定を行うことができない。

課題23 次の文を読み、問 45、問 46 に答えよ。

肥育豚の元気、食欲が消失し、〔図 23 - A〕のような便がみられた。〔図 23 - B〕は排出された糞便の鍍銀染色像である。

別冊 D
図 23 - A, B

問45 病原体として最も疑われるのはどれか。

1. *Escherichia coli*
2. *Lawsonia intracellularis*
3. *Salmonella* Typhimurium
4. *Brachyspira hyodysenteriae*
5. *Isospora suis*

問46 本疾患および病原体に関する記述として正しいのはどれか。

1. 出血性カタル性大腸炎が特徴である。
2. 志賀毒素やエンテロトキシンを産生する株がある。
3. サルファ剤やトルトラズリル製剤が有効である。
4. 細胞内寄生性で慢性増殖性腸炎をおこす。
5. 野生動物からの感染に対する防疫対策が重要視される。

課題24 次の文を読み、問 47、問 48 に答えよ。

犬、チワワ、避妊雌、6歳齢。粘膜が白い気がするとの主訴で来院。血液検査では貧血が認められた。〔図 24〕は血液塗抹像（ライトギムザ染色、×1,000）である。

別冊 D

図 24

問47 赤血球に認められる形態異常として最も適当なのはどれか。

1. 菲薄化赤血球
2. 球状赤血球
3. 断片化赤血球
4. ハイイツ小体
5. ハウエルジョリー小体

問48 この形態異常をもたらす疾患・病態として適切なのはどれか。

1. 消化管潰瘍
2. バベシア症
3. 播種性血管内凝固
4. 玉ねぎ中毒
5. ピルビン酸キナーゼ欠損症

課題25 次の文を読み、問 49、問 50 に答えよ。

犬、アメリカン・コッカー・スパニエル、去勢雄、4 歳齢。今朝から呼吸が速く苦しそうとの主訴で来院。アレルギー性皮膚炎のために穀物を含まない食餌を食べている。聴診では心拍数 140 回/min で、左心尖部を最強点とする弱い全収縮期性雑音とギャロップを聴取した。心エコー図検査での左室内径短縮率 (FS) は 15% であり、肺エコーでは B ラインが認められた。

別冊 D

図 25

問49 [図 25] は心音図の模式図である。本症例のものとして最も適切なのはどれか。

1. ア
2. イ
3. ウ
4. エ
5. オ

問50 本症例に対する治療薬として適切でないのはどれか。

1. エナラプリル
2. ピモベンダン
3. アテノロール
4. タウリン
5. フロセミド

課題26 次の文を読み、問 51、問 52 に答えよ。

牛、ホルスタイン種、雌、3歳齢。1週間前から元気と食欲がなく、鼻出血を主訴に診察した。体温 39.8℃、心拍数 116 回/min、呼吸数 48 回/min であった。〔表 26 - A〕は血液検査結果、〔図 26 - B〕は肝臓超音波検査像である。

別冊 D 図表 26 - A, B

問51 最も疑われる疾患はどれか。

1. 脂肪肝
2. 肝膿瘍
3. 肝線維症
4. 胆管炎
5. 肝アミロイド症

問52 本疾患の原因として最も疑われるのはどれか。

1. 胆管閉塞
2. ルーメンパラケラトーシス
3. ビタミン E 欠乏
4. 尿膜管膿瘍
5. 肝蛭の寄生

課題27 次の文を読み、問 53、問 54 に答えよ。

〔図 27 - A〕はある感染症による我が国における馬の流産頭数、〔図 27 - B〕は流産胎子の外貌である。

別冊 D 図 27 - A, B

問53 最も疑われる疾患はどれか。

1. 馬パラチフス
2. 馬媾疹
3. 馬鼻肺炎
4. 馬ウイルス性動脈炎
5. 馬伝染性子宮炎

問54 この疾患に関する記述として適切なのはどれか。

1. 病原体の排除に抗菌薬が有効である。
2. 産道で増殖した病原体が胎子に感染する。
3. 重種馬のみに感染する。
4. 病原体は母馬に潜伏感染する。
5. 我が国ではワクチンが承認されていない。

課題28 次の文を読み、問 55、問 56 に答えよ。

養殖アユの体表に〔図 28 - A〕の病変が確認された。〔図 28 - B〕は病変部筋肉の直接鏡検像である。

別冊 D
図 28 - A, B

問55 最も疑われる疾患はどれか。

1. ミズカビ病
2. 冷水病
3. 内臓真菌症
4. 真菌性肉芽腫症
5. イクチオホヌス症

問56 本疾患に関する記述として正しいのはどれか。

- a 病原体は卵菌類である。
- b 病原体に対する炎症反応が顕著である。
- c 診断には患部の多核球状体を確認する。
- d ワクチンにより予防できる。
- e 昇温処理により治療できる。

1. a, b 2. a, e 3. b, c 4. c, d 5. d, e

課題29 次の文を読み、問 57、問 58 に答えよ。

猫、雑種、雌、9歳齢。5か月前から便秘を繰り返すとの主訴で来院。〔図 29〕は腹部単純 X 線側方像である。

別冊 D

図 29

問57 最も疑われる疾患・病態はどれか。

1. 腸管の腫瘍
2. 腸捻転
3. 腸内異物
4. 子宮蓄膿症
5. 巨大結腸症

問58 本症例に対する治療として最も適当なのはどれか。

1. 結腸亜全切除術
2. 異物の外科的摘出
3. モサプリドの投与
4. 腫瘍の外科的切除
5. 卵巣子宮摘出術

課題30 次の文を読み、問 59、問 60 に答えよ。

犬、チワワ、避妊雌、2歳齢。5か月前から頸部を痛がりふらつくことがあるとの主訴で来院。〔図 30〕は頸部 X 線像（A：側方像、B：背腹像）である。

別冊 D 図 30 - A, B

問59 最も疑われる疾患はどれか。

1. 脊椎腫瘍
2. 環椎軸椎不安定症
3. 椎間板脊椎炎
4. 変形性脊椎症
5. 尾側頸椎脊髓症

問60 治療法として最も適切なのはどれか。

1. 放射線治療
2. 免疫抑制量のコルチコステロイドの投与
3. 抗菌薬の投与
4. 片側椎弓切除術
5. 環椎軸椎の腹側固定術

